



Juntos!!中南米対日理解促進プログラム オンライン訪日プログラム（テーマ：GX、DX）の記録

1. 概要

【目的】Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムで訪日経験を有する中南米各国の同窓生を対象に、日本の先進技術や地球温暖化への対策を知ることによって、日本への関心を高め、各国において日本の技術活用について検討する契機を作ることを目的に実施しました。

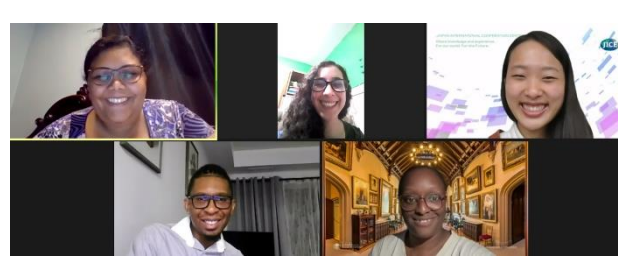
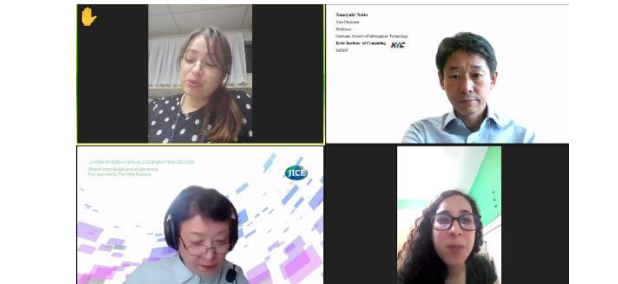
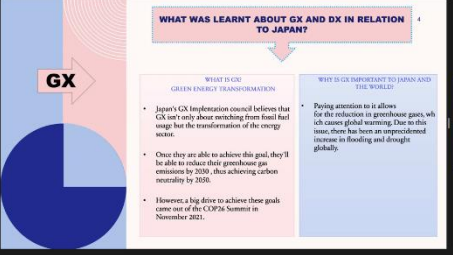
【参加者】Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムの同窓生(2015 年度～2021 年度の参加者)（アルゼンチン、エクアドル、グアテマラ、セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、バルバドス、ブラジル、ホンジュラスの大学生・大学院生、社会人、オンライン訪日経験者を含む）計 9 名

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応 (参加人数)
1 日目 2022 年 10 月 25 日	【オリエンテーション】【ワークショップ】 ① 挨拶 ② Juntos!! プログラムの概要説明 ③ グループ別プログラム（自己紹介と担当決め）2 グループ ④ 記念撮影	オリエンテーションではプログラムの特徴に関する全般的なアナウンスと、ワークショップについての説明がありました。 ワークショップでは、参加者間の交流およびネットワーク構築を図ることを目的として参加者意見交換会を実施し、参加者間で過去のプログラム参加時に得た日本に関する予備知識や気づきをまとめ、整理しました。(8 名)
2 日目 2022 年 10 月 26 日 兵庫県	【テーマ関連講義・質疑応答・意見交換】 ① 講義 「日本の GX ^(注1) 、DX ^(注2) 政策と戦略」 講師：神戸情報大学院大学 副学長・特任教授 内藤 智之氏 (注1) GX(グリーン・エネルギー・トランスフォーメーション)：環境に配慮した先端技術を使い、産業構造を変革(トランスフォーメーション)する取り組みのこと。	講義では、日本への GX への取組や中南米諸国に対する日本の IT 技術における協力について学び、自国で応用できるアイデアを得ました。 日本と中南米地域の GX、DX に係る協力関係も考察し、文化的な側面と関連させて、GX、DX を教える重要性を問うなど、踏み込んだ質問がでました。(9 名)

	(注2) DX (デジタルトランスフォーメーション) : 最先端のデジタル技術の活用を通じて、デジタル化が進む高度な将来市場においても新たな付加価値を生み出せるよう従来のビジネスや組織を変革すること。 ② 質疑応答 ③ 講義を受けて意見交換会	
3 日目 2022 年 10 月 27 日 兵庫県	【テーマ関連講義・意見交換・質疑応答】 ① 講義 「グリーン・ファイナンシャル・インクルージョン ～誰一人経済的に取り残さない～」 講師：神戸情報大学院大学卒業生 アイクラフト株式会社ゴサナ カタレホ セガバデラ リチャード氏 ② 身の回りの GX、DX についての意見交換 ③ 質疑応答 ④ 講義を受けて意見交換会	日本の IT 技術への理解を深め、各国での日本への知識や技術の活用を考察する機会としての講義がありました。 意見交換では、日本の GX や DX の実例を学び、日本と自国との協力関係を考察しました。 二酸化炭素排出やリサイクルの大切さ、それがビジネスファイナンスに影響を与えることは考えたことがなかったという感想や、出身地における GX、DX の具体例や課題、その解決案についての言及がありました。(5 名)
4 日目 2022 年 10 月 28 日	【ワークショップ】【報告会】 ① グループディスカッション テーマ ・プログラム参加前のテーマに関する知識や活動（自国における GX、DX の事前知識や個人的な活動知見の有無） ・プログラム中の学びや発見（GX、DX についての新たな発見） ・GX、DX の今後の展望（GX、DX を活用でき得る分野） ② グループ発表（1 グループ） ③ 講評 ④ 記念撮影	プログラムを通じて得た日本に関する知識や気づきをワークショップでまとめ、発表準備をした上で、成果や今後の活動計画等を報告会で発表しました。(3 名)

2. 記録写真

 Group Presentation • Presentation of within 7 minutes • Final presentation must include 1. Knowledge or activities related to the topic before participating in the program -- Do you have any previous knowledge, experience or individual activities concerning the topic of "GX and DX"? 2. What are your discoveries/learnings about Japan during the program? -- Are there any new discoveries about Japan and the Japanese? 3. Future prospects of GX&DX in your country/region -- In what fields do you think GX and DX can be applied? 	
2022 年 10 月 25 日【オリエンテーション】	2022 年 10 月 25 日【グループ別プログラム】
 	
2022 年 10 月 26 日【講義】	2022 年 10 月 26 日【質疑応答】
 	
2022 年 10 月 27 日【講義】	2022 年 10 月 27 日【意見交換・質疑応答】
 	
2022 年 10 月 28 日【報告会】	2022 年 10 月 28 日【報告会】講評

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ トリニダード・トバゴ 社会人

素晴らしいプログラムでした。講師や参加者と直接やり取りができる臨場感がとても気に入りました。

◆ トリニダード・トバゴ 社会人

GX、DXについて多くを学びました。プログラムに参加して、私が知らなかっただけで、自国に

存在していたものだと知ることができました。

◆ トリニダード・トバゴ 社会人

プログラムに参加した仲間と再会できたことは素晴らしかったです。講義内容の資料を事前にいただけたらより理解が深まったと思います。

◆ セントクリストファー・ネービス 社会人

GXについてさらに学びを深めたいと思います。

◆ ホンジュラス 社会人

テーマと講義内容に満足しました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

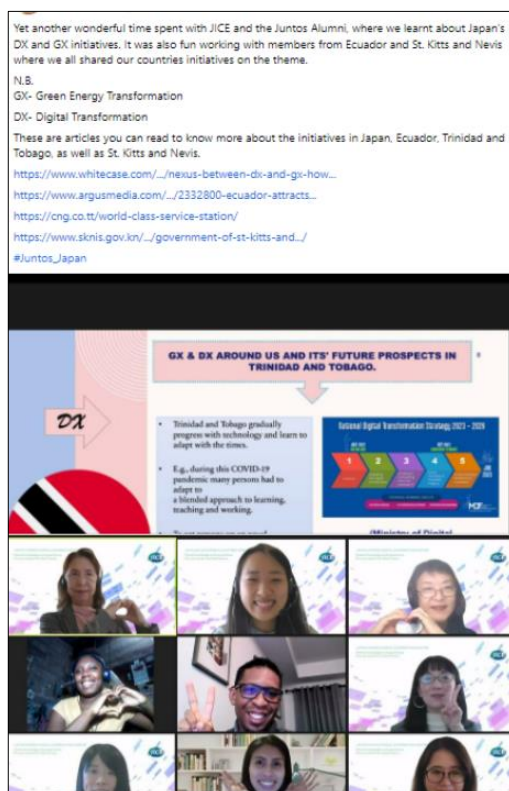
◆ 講師

参加者の参加意欲が想定以上に熱心に感じられました。関係者の皆様が実施準備を丁寧に行っていることを感じました。

◆ 講師

JICE や Juntos!!の参加者と有益な交流ができ、大変楽しみました。

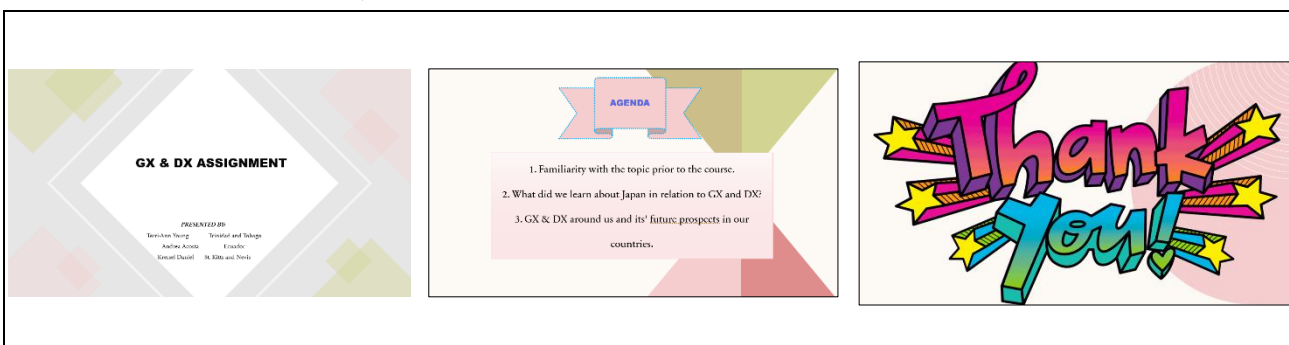
5. 参加者の対外発信



2022 年 10 月 25 日（Facebook）

JICE や Juntos!!同窓生と一緒に、日本の GX や DX の取り組みについて学び、また素晴らしい時間を過ごすことができました。また、エクアドルやセントクリストファー・ネービスのメンバーと一緒に、このテーマに関する自国の取り組みを共有できたことも楽しかったです。

6. 報告会での参加者の発表（抜粋）



■ GX および DX に関連して日本について学んだこと

1. GC（グリーンエネルギー変換）とは

- ・日本の GX 導入協議会は、GX は化石燃料の使用からの切り替えだけでなく、エネルギー部門の変革であると考えています。
- ・この目標を達成できれば、2030 年までに温室効果ガス排出量を削減し、2050 年までにカーボンニュートラルを達成できるようになります。
- ・これらの目標を達成するための大きな推進力は、2021 年 11 月の COP26 サミットから生まれました。
- ・GX に注意を払うことは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を可能にします。この問題により、世界的に洪水と干ばつが前例のないほど増加しています。

2. DX（デジタル変換）とは

- ・日本のデジタル変換の進化は緩やかです。
- 1) 2000 年初頭ーICT インフラストラクチャの開発
- 2) 2000 年中ごろーICT 活用推進
- 3) 2013 年からーデータ活用の推進
- 4) 2017 年から現在までーデジタル社会の構築。
- サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を融合
- ・新型コロナウイルス感染症を視野に入れた接触アプリの開発などがあります。

■ 身の回りの GX、DX と自国における今後の展望

1. エクアドル

- ・コカ・コド・シンクレア水力発電があり、これは環境負荷低減のための最大の投資です。
- ・憲法で、政府がクリーンで再生可能なエネルギー源の使用を促進し、エネルギー効率を促進し、環境を保護しなければならないことが確立されました。
- ・主な供給源は水力エネルギーであり、生成される総エネルギーの 62.51%を占めています。生成される再生不可能なエネルギーの残りの 35.12%は、主に内燃機関からのものです。

2. トリニダード・トバゴ

- ・トリニダード・トバゴでは、政府がエネルギー部門を多様化し、より環境に優しいものにしようとしているため、グリーンアジェンダがずっと最前線にあります。
- ・この一例は、プレイサルサービスステーション（トリニダード中央部）での再生可能エ

エネルギープロジェクトです。

- ・このステーションは、液体燃料、圧縮天然ガスを提供し、再生可能エネルギーを使用して電気自動車を充電できるようにします。

- ・トリニダード・トバゴでは徐々に技術が進歩し、時代に適応していています。

- ・例えば、このコロナパンデミックの間、多くの人々は学習、教育、仕事への混合アプローチに適応しなければなりませんでした。

- ・人々が平等な立場に立てるように、多くの組織や政府省庁が有用なコースを提供しました。例えば、YTEPP とデジタルトランスフォーメーション省によって提供されたデジタルリテラシーなどです。

- ・トリニダード・トバゴにおける GX と DX の未来は有望ですが、完全にグリーンエネルギー社会になるまでにはしばらく時間がかかります。

3. セントクリストファー・ネービス

- ・化石燃料への依存を減らし、再生可能エネルギーを活用することを推進します。

- ・カリブ海の発電量を大幅に増やすネビス島の地熱発電所を開発します。

- ・建設用太陽光発電所の設置を進めます。

- ・日本との連携には GX 協議会の実施や、G7 や国連などの国際機関で SIDS を提唱していき、開発においてカリブ海に技術支援を提供していくことや、社会的および多次元インデックスを含む代替クレジットスコアリングメカニズムを作成することが必要だと考えます。

- ・技術専門家や投資資金への不足などの課題はあります。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）